

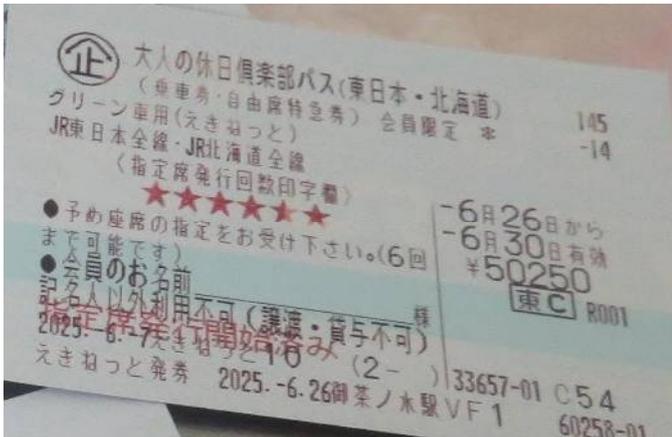
「北海道一周鉄道旅行(1)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「大人の休日倶楽部」というのがあります。JR 東日本が提供する「中高年向け」の鉄道運賃・料金の割引制度の一つです。50 歳以上から入会でき、65 歳以上だと割引率が 30%にアップします。

その会員には年に数回、特別企画のきっぷ(企画乗車券)の発売があります。主として旅行客の閑散期が多いです。今回も 6 月下旬から 7 月上旬にかけて、広範囲の「フリーきっぷ」が発売されました。「JR 東日本のみの普通車用」と「グリーン車用」、「JR 東日本と JR 北海道の普通車用」と「グリーン車用」の 4 種類です。



私は運よく発売枚数が一番少ない「JR 東日本+北海道・グリーン車用」を入手できました。50,250 円もして贅沢とも思いましたが、ちょっと計算すると「東京～新函館北斗間」を新幹線グリーン車で往復するだけでも 64,860 円かかるので、それだけに使っても元がとれます。今回は完全に個人旅行なので、何日かの年休と土日を組み合わせる旅行に出ました。



旅行初日、早朝の御茶ノ水駅の指定席券売機で、切符を買いました。あらかじめ料金は支払ってあったので、バーコードをかざすだけで簡単に買えました。何と説明書も含めて、10 枚も印刷されてきました。



この企画乗車券では、新幹線や在来線特急のグリーン車に 6 回乗れます。あらかじめ「えきねっと」で希望の列車の席を予約して、旅行当日にきっぷを買えばよいので、券売機の前で迷う必要はありません。旅行開始後も指定券は変更できます。また、6 回を超えた分は新幹線や在来線特急の「普通車自由席」に何度でも乗れます。全車指定席の新幹線や特急でも、一部の列車を除いて、空席に座ることが可能というスバラシキきっぷです。もちろん普通列車にも乗れます。

連続した 5 日間有効で、こういうフリーきっぷを手にすると「よし!とこどん乗って、得しよう!」といった悪い癖が全面的に出てしまうのです。時刻表を見ながらいろいろ検討すると、北海道を一周できることがわかり、「よっしゃー!これでいきましょう!」と勇躍東京を出発したわけです。



旅行の最初の駅は東京駅にしたかったのですが、指定券券売機が混んでいるので、少し手前の「御茶ノ水駅」にしました。初代「お茶の水女子大学」があった

場所なので、少し所縁もあったと思ったのです。



6月下旬の平日にしては、東京駅は混んでいました。お客さんの大半が「大人の休日倶楽部」の乗客だと思えます。私も含めて中高年の方が多かったです。



北海道新幹線の青森以北の区間や、東北新幹線の新青森までは何度も乗りましたが、東京から新函館北斗まで通して乗るのは初めてです。青函トンネルに速度制限があるので、4時間ちょっとかかります。それでもかつて夜行寝台列車と青函連絡船を乗り継いで旅行した時代に比べると、夢のような俊足です。



新幹線のグリーン車なんて誠に身分不相応で、一步踏み込むのにドキドキしてしまいました。



旅客機には座席のモニターで「現在の飛行位置」がわかりますが、新幹線にはありません。そこでスマホの位置情報アプリで、現在地を表示しながら車窓風景を眺めていました。川のなまえや山のなまえがわかって、面白いです。



宇都宮を過ぎると、左車窓に那須連山が見えてきます。この日は梅雨空で、残念ながらあまりはっきりは見えませんでした。



あっという間に仙台駅に着きました。大宮の次がもう仙台なのです。過去には「上野発仙台行き」の寝台急行列車もありました。それを考えると、仙台も本当に近くなりました。あおば通りがきれいでした。